

牧耕
述平山

初學經濟論

卷二

國立第一師範學校
(學校圖書)

登錄號	號
分類	門
種	部
冊	項
全	次
3	冊
25417	號
分冊	號
357.1	

T1A1

23

Ma 38

圖書 和圖書 遡



a 1 3 8 0 3 2 3 0 1 8 a

福岡教育大学蔵書

初學經濟論卷二

第十七章

労働ヲ省クハキ機械ハ
却テ労働ハ人ニ益アリ

牧山耕平 譯

労働ヲ減省スベキ機械ヲ用井ルニ當リテハ其
初ハ傭工ヲ減ズベキニ似タレバ終ニハ却テ其
數ヲ増益スベシ、今夫レ、十人ノ労働ヲ要スベキ
ナルニ、紡績機械ノ發明アルヲ以テ、僅ニ二人

ニシテ、其用ヲ辨ズルニ足ラバ、數名ノ傭工、固ヨ
リ其職ヲ失フベシ、然レモ、絲ノ價ハ、是ニ因リテ
廉下ナルヲ致スベク、然ルトキハ、總テ其絲ヲ用
井ル所ノ諸傭工ニ在リテハ、其實勞銀ノ騰貴レ
タルト相異ナルコトナシ、第十五章ヲ見ヨ、且ツ
コレノミナラズ、新出機械ヲ製造スルガ爲メニ、
機械師ハ、其職ヲ得ル_一多カルベシ、
又此ノ如キ時ニ當リ、其生ズル所ノ益ハ久レキ
ニ傳ハリテ、損ハ一時ニ止マルモノナリ、蓋シ經
驗ニ據リテ之ヲ考フルニ、世間ノ物、其價ノ少レ

ク貴キガ爲メニ、人之ヲ購買セズレテ止ミシモ、
其價減ズルニ依リテ、遽カニ需用ヲ増スコトア
リ、又製造家ニ在リテモ、例ハバ、九十五錢ヲ費ヤ
シテ、亞麻布_{リネン}三尺ヲ製造シ得ルトキ、之ヲ買者ニ
賣ルニ方リテ、其價每三尺一圓零五錢ヲ要スレ
バ、其人三千尺ナラデハ、之ヲ買ハズ、若シ三尺一
圓ニ減ズレバ、其人九千尺ヲ買フベク、且ツ製造
家モ、亦其價ノ卑レキ方ヲ選ビテ之ヲ賣ラン、是
レ其價ノ卑レキモノ、却テ賣額ヲ得ル_一多ケレ
バナリ、其計算左ノ如シ、

一每三尺一圓零五錢トシテ、三千尺ノ賣額一千
 零五十圓ナリ、中ニ就テ、製造ノ費銀、三尺毎ニ
 九十五錢、即チ三千尺ノ總額、九百五十圓ヲ除
 去スレバ、殘餘ノ一百圓ハ利潤ナリ、
 一每三尺一圓トシテ、九千尺ノ賣額三千圓ナリ、
 中ニ就テ、製造ノ費銀、每三尺九十五錢、即チ九
 千尺ノ總額、二千八百五十圓ヲ除去スレバ、殘
 餘ノ百五十圓ハ、利潤ニシテ、其前條ヨリ多キ
 一五十圓ナリ、
 夫レ機械ヲ用井テ製造ヲナセバ、大ニ其費用ヲ

減省シ、且ツ之ガ爲メニ、其物貨ノ價フシヲ廉ナ
 ラシムルガ故ニ、物貨ノ需要モ亦愈多カルベシ、
 是故ニ、製造家ハ、久シカラズシテ、復タ多ク傭工
 ヲ使役シ、其數少ナクモ、機械發明ノ以前ニ下ラ
 ズ、却リテ前時ヨリモ多キニ至ルハ其常ナリ、即
 チ亞麻布ニ就テ之ヲ考フルニ、現今其製造ノ爲
 メニ、使役セラル、傭工ノ數ハ、前時盡ク手指ニ
 テ製造セシ時ヨリモ甚ダ多シ、左ノ表ハ、トーマ
 ス、ブラセー氏ガ著シタル勞銀動作論ヨリ拔萃
 スル所ナリ、此表ニ依リテ之ヲ觀レバ、英倫蘇格

蘭及ビ阿爾蘭ニ於テ、製造ノ爲メニ使役セラレタル傭工ノ數ハ、機械ノ數ノ増スニ隨ヒテ増加シ、又機械ノ數ノ減ズルニ隨ヒテ減ゼシ、一見シテ瞭然タリ、

		千八百五十六年	千八百六十二年	千八百六十八年
木綿類	機械數	二十九万八千八百十七	三十九万九千九百九十二	三十七万九千五百九十九
	傭工數	三十七万九千二百三十三	四十五万五千五百六十九	四万二千六百四十四
毛織類	機械數	五万三千三百三十九	六万四千八百十八	十一万八千八百五十五
	傭工數	十万六千八百八十五	十七万三千四百六十六	十五万三千五百六十六
亞麻類	機械數	八千六百六十九	一万五千三百四十七	三万五千四百七十七
	傭工數	八万二千三百六十一	九万四千〇〇三	十三万五千三百三十三

新機械ノ出ツルニ當リテ、一時職ヲ剥ガレタル傭工ノ虧損ハ、機械ヲ作ルベキ人ニ在リテ、永久ノ利益ヲ蒙ムルト、及ビ右傭工ニ在リテ、到底加倍ノ需要ヲ得ルトニ由リテ、之ヲ償フテ餘リアリ、加之、機械ニテ製造シタル物貨ハ、其價愈廉下ナルニ至ルベク、第五章ヲ見ヨシテ、之ヲ買フベキ各傭工ノ勞銀ヲシテ高カラシメン、故ニ機械ノ發明アレバ、傭工ハ、齊シク永久ノ利益ヲ受ル者ナリ、

是故ニ、勞動ヲ省クハ、キ、機械ハ、却テ勞動ハ人ニ

益アリト云ス、

第十八章

高キ勞銀ヲ與ヘテ、
間、大ナル利潤ヲ得

勞動ノ價ハ其舉ル所ノ實効ニ由リテ定ムベシ
トハ、學師スウヱトガ云ヘル辭ナリ、今夫レ、甲乙
ノ二人アリテ、共ニ同一ノ勞銀ヲ取リ、而シテ甲
ハ、乙ヨリ二倍ノ事ヲナセバ、乙ノ勞銀ハ、甲ヨリ
高キヲ二倍ナリトス、譬ヘバ、毎一人二圓ニシテ、
乙ハ、一日ニ亞麻布三十尺、甲ハ、一日ニ六十尺ヲ

製造スレバ、乙ノ造リタル亞麻布ハ、三尺毎ニ勞
動ノ價二十錢ニシテ、甲ノ造リシ者ハ、三尺毎ニ
十錢ナリ、然レバ、二圓ニテ永ク乙ヲ役センヨリ、
一日三圓ニテ、甲ヲ雇ヒタランニハ、雇主ニ在リ
テ益多カルベシ、何トナレバ、縱令一圓ヲ増スモ、
其製造シタル亞麻布ハ、三尺毎ニ僅ニ十五錢六錢
十尺ヲ以テ勞銀三圓ヲ除セバ、毎一ナルベクシ
尺五錢ヲ得即チ每三尺十五錢ナリ、ナルベクシ
テ、乙ノ製造シタル布ハ、三尺毎ニ勞動ノ價二十
錢ナルベケレバナリ、是故ニ拙工ニ低キ勞銀ヲ
與ヘン、ヨリハ、妙手ニ高キ勞銀ヲ與フルノ却

リテ廉ナルニ如カズ、
若シ雇主アリテ、其隣家ニ住メル雇主ヨリモ、高
キ勞銀ヲ出シテ工人ヲ雇ヒナバ、最モ勝リタル
傭工ヲ招キ得ベシ、即チ隣家ノ傭工ニ較ブレバ、
身體最モ强健ニレテ、作工ニ練熟シ、物料ヲモ輕
ンゼズ、品行モ正シクレテ、酒ダニ飲ザル傭工ニ
テアレバ、雇主ハ、之ガ爲メニ大ニ裨益ヲ得ベシ、
又傭工ハ、曾テ一事ノ喧争ヲモ發セズシテ、偏ニ
此雇主ヲ失フヲ恐ル、ナラシ、且ツ雇主ノ待遇
愈、優渥ナレバ、傭工モ亦之ニ感ジテ、愈、懇情ヲ盡

スナラシ、果シテ此ノ如クナレバ、則傭工責メズ
レテ職ニ怠ルヲナシ、而シテ雇主ニ在リテハ、幾
許カ監督ノ費ヲ省クベク、傭工ハマタ生計ノ優
ナルガ爲メニ、意氣自ラ活潑怡々トシテ、隨ヒテ
產物ヲ生ズベキ力ヲ増スベシ、嘗テ墾地利ニ於
テ自由ノ勞動傭工ノ勞ト、奴隸束縛ヲ受ケテ、農
業ノ爲ニ、驅役セラルハ、奴
隸ヲ云フ、ノ勞動トヲ比較セシニ、傭工ノ產物ヲ
生スベキ力ハ、奴隸ノ力ニ三倍ナリレトゾ、又傭
工タル者、高キ勞銀ヲ得テ、爲メニ好キ食物ヲ食
ヘバ、是亦產物ヲ生ズベキ力ヲ増スベキナリ、

高キ勞銀ハ、產物ヲ増シ易キヲ上ノ如クニレテ、其現費ノ甚ダ少ナキ爲メニ、利益ノ甚ダ大ナルヲアルハ、コレ實迹上ニ於テ、吾人ノ屢見ル所ナリ、即チトーマス、ブラス、シー氏ノ勞銀動作論ヨリ、其明證ヲ引テ之ヲ左ニ示ス、

英吉利ニ於テノルス、デウシノ鐵道ヲ建造セシトキ、初ニハ傭工ノ勞銀、一日ニニレルリンググハ、十三錢ニ等シ、我ニナリレガ、其後一日ニニレルリンググ半、次デ又三レルリンググニ登レリ、然レバ、其勞銀ノ低キヨリ、高キニ登ルニ隨ヒテ、其作工ハ、

却リテ廉下ニレテ成就レタリ、

又倫敦ニテ其名ヲノトロ、ボリクニト云ハル水

竇ノ一部分ヲ造リシトキ、其傭工ノ勞銀、一日六

レルリンググナリシトキヨリ、十レルリンググニ登

リタル後ニ至リテ、其磚壁ハ、却リテ廉下ニレテ

成就レタリ、

又佛蘭斯ニ於ルボンニールノ石坑ニテハ、英佛

阿ノ傭工ヲ相併セテ雇役シ、佛蘭斯人ニハ、一日

三フランク、一フランクハ我ニ等シ、阿爾蘭人ニハ、四

フランク、英吉利人ニハ、六フランクノ勞銀ヲ與

ハタリニ、其中ニ就テ、英吉利人ハ、最モ多ク、
傭工ナリトゾ、

ハ、シグス、ブローク、英吉利内ナル停車場ノ傍

ニ食肆、汽車ノ停在タル間、乗客下ヲ建築スル

時、倫敦ノ堀工ハ、一日五シリング半ヲ得、他ノ

二名ハ、田舎ノ職工ナリシガ、各三シリング半

ヲ得タリ、此時堀工ニ知ラレズシテ竊カニ其

工程ヲ度リ試ミシニ、倫敦ノ職工ハ、別ニ餘分ノ

勉強ヲ爲サズト雖、一日ノ間ニ、其成シ得タル

所二人ノ工程ニ過ギタリト云ヘリ、

又加拿他ニ於テグラント、トロントノ鐵道ノ

建造スルニ當リテ、本上ノ傭工ハ、各、毎一日三

シリングヲ得テ、英ノ傭工ハ、五シリング乃至

六シリングヲ得タリシガ、英ノ職工ノ工程ハ、

最モ速カナリトゾ、

夫レ高キ勞銀ハ、以テ傭工ヲ勵マシ足ルベケ

ル、少數ノ人ヲ用井テ、多數ノ人ヲ用井ルニ均

シキ工程ヲナサレムルヲ得ベシ、然レバ、每人

勞銀ハ高シト雖、其支出スル所ハ勞銀ノ總額

實算勞銀元手ハ少ナカルベシ、譬ハバ、毎一日ニ

圓ノ傭工十六人〔此額三十二圓〕ヲ用ヰルニ代ハ
テ、毎三圓ニテ十人〔此額三十圓〕ヲ雇ヒ、此十六人
ノ動作ヲナサレムレバ、雇主ニ在リテハ、其十人
ヲ雇ヘルノ多益ナルハ、實ニ明白ナリ、何トナ
レバ、一日三十二圓ヲ出スヲナクレテ、僅ニ三十
圓ヲ與ヘ、以テ同一ノ工程ヲ爲サレムルヲ得レ
ハナリ、

英吉利ニテ鑛物ヲ鎔スニ、二十五人ニテ爲スベ
キ動作ヲ、佛蘭斯ニテハ、四十二人ヲ用ヰテ之ヲ
爲レタリ、若レ佛人ハ、一日ニ一圓ヲ得テ、英人ハ、

一日ニ一圓五十錢ヲ得ルトセバ、其勞動ノ償、佛
ニ在リテハ、英ヨリ高キ者ナリ、何トナレバ、四十
人ノ勞銀ハ、一日ニ四十二圓ニシテ、二十五人ノ
勞銀ハ、一日ニ三十七圓五十錢ナリ、而レテ彼此
共ニ是レ同一ノ事ヲナス者ナレバ、勞動ノ價、英
ニ在リテハ、佛ヨリ低キヲ四圓五十錢ナリ、
抑、傭工ノ勞銀ヲ増ス所以ハ、產物ノ高ヲ増シ、以
テ利潤ヲ多クセンガ爲メナリ、故ニ若シ多ク勞
銀ヲ増スハ、其傭工ヲ勵マレテ、多ク勞動ヲ致サ
レムルニ足ラザレバ、其加銀ヲ與フルハ、雇主ニ

於テ處置ノ宜シキヲ得タル者ニ非ズ、
爰ニ高キ勞銀ヲ與フルモ、勞動ヲ勵マスト能ハ
ザル事アリ、卽チ傭工低キ勞銀ヲ取ルト雖モ、其
日用必需ノ物ヲ購買スルニ足リテ、之ヲ以テ自
ラ安ンズレバ、縱令勞銀ヲ加フルモ、傭工ハ、其低
キ勞銀ニ應ズベキ勞ヲ致スノ外、其餘ノ時間ハ、
只徒ラニ過ダスベシ、彼ノ印度ニテ鐵道ヲ建造
ヒシトキ、其傭工タリシ温度斯坦人ハ、勞銀ノ増
スニ隨ヒテ其工程ヲ減ジタリ、又英倫ノ石炭坑
ニテハ、千八百七十年以來、大ニ坑夫ノ勞銀ヲ増

レタレド、其勞動ノ時間ハ、是ヨリ減ジ、掘リ出
タル石炭ノ額數ハ、勞銀ノ増加ニ應ジテ、更ニ多
キヲ加ヘズ、故ニ其勞銀ノ増加ハ、利潤ヲ加ヘズ
レテ、却リテ之ヲ減ジタリキ、因リテ考フルニ、高
キ勞銀ヲ出セバ、多ク利潤ヲ得ル者ト一概ニ定
メ難シ、但レ前件ニ示セル諸例ノ如キハ、專ラ加
銀ノ爲メニ利潤ヲ得タル者ナリトス、
是故ニ、高キ勞銀ヲ與ヘテ、間、大ナル利潤ヲ得
ト云フ、

釋義第十、傭工ハ同黨トハ、傭工黨結レテ雇主

ニ要迫シ、雇主其請ヲ所ヲ許サレハ復タ雇役ヲ求メザルハ謂ナリ、

釋義第十一、雇主ハ連合トハ雇主相約シテ傭工ニ強ヒ傭工其欲スル所ニ從ザレバ雇役ヲ廢シテ復タ用井ザルハ謂ナリ、

第十九章

傭工黨ヲ結ヘバ、
害アリテ利ナシ、

傭工黨ヲ結ビテ雇主ニ叛クニ當リテハ常業ヲ休ミテ久シク生計ヲ保持スル者終ニ全勝ヲ得

ベシ、財主タル者ハ通常富有ノレバ幾日トナク、幾月トナク其貯蓄ヲ以テ生計ヲナシ得ベレト雖、傭工ハ多クハ一錢ヲモ貯ヘザル者ニレテ、或ハ罕ニ貯蓄アルモ其豊カナルモノハ極メテ少ナク、或ハ又其傭工成業同社ニ屬スル者ニシテ暫時其資給ヲ仰グヲ得ルモ其少許ノ積金ヲ以テ之ヲ數多ノ社員ニ配分スルトキハ決シテ久シキヲ保持シ得ベカラズ、夫レ雇主ハ財本ヲ費シテ利潤ヲ得ンガ爲メニ傭工ヲ使役シ傭工ハ、ソノ生命ヲ支ヘンガ爲メニ其使役ヲ受クル

者ナレバ、其常業ヲ休ミテ、久シク生計ヲ保持ス
ルヲ得ベキハ、到底雇主ニ歸スルコト、概シテ其
常ナリ、

雇主ハ、傭工ノ請願ヲ肯ンゼスシテ、聯合スルコ
トアリ、蓋シ傭工同黨シテ、勞銀ヲ増スベキ旨ヲ以
テ、雇主ニ逼ルトキ、雇主之ヲ許セバ、恐ラクハ近
傍ノ同業タル雇主ヲシテ、皆然ラシムルニ至ラ
ン、故ニ同黨起ルトキハ、之ヲ鎮壓スルコト、雇主ノ
利ナリ、是故ニ、一羣ノ傭工同黨ヲナシ、他ノ動作
スル所ノ傭工ヨリ資給ヲ得テ、其身ヲ支ルコトア

レバ、其資給スル所ノ傭工ヲ使役スル雇主ハ、間
聯合シテ之ヲ廢止シ、資給ノ本源ヲ斷チテ、其活
路ノ難キニ至ラシムルベシ、終ニ一同ノ傭工ヲシ
テ服従セシムルコトアルベシ、
雇主タル者ハ、其同侶少ナク、且ツ識見ヲモ具ヘ
タルガ故ニ、其聯合シテ功ヲ得ルコト傭工ヨリ
易シトス、

傭工ハ、年ヲ逐ヒテ同黨ヲ結ブニ難シトス、何ト
ナレバ、運輸ノ便利、年毎ニ開進スルニヨリ、雇主
ハ、別所或ハ他國ヨリ傭工ヲ招キテ、其同黨セシ

者ニ代フルヲ得レバナリ、曾テ亞米利加ニテ傭
工ノ同黨セシトキ、雇主ハ、瑞典ヨリ傭工ヲ招キ
テ之ヲ使ヒタリキ、
傭工同黨ヲ結ヘバ、其間怠惰ノ習慣ニ染ミ易ク、
竟ニハ其身ヲシテ作工スルニ難カラシム、又其
間酒ニ耽リテ空閑ヲ消スル者往々之アリ、又其
一錢ヲ得ザルノ間ハ、其身及ビ家族ノ困迫セル
ヨリ、時トシテ竊盜スルモノモナシトセズ、縱令
此ノ如キノ累害ナキモ、凡ソ同黨ハ、其貯蓄ヲ浪
費スルヲ以テ常トナシ、其夥伴ノ貯金ナル成業

同社ノ財本ヲモ盡シテ餘サズ、或ハ其過半ヲ浪
用スベシ○千八百三十六年ニ方リ、英倫ナルグ
レストンニ於テ、紡績者ノ同黨セシトキ、其黨類
ノ損失ハ、凡ソ三十萬圓ニ及ビテ、雇主ノ損失ハ、
二十萬圓ニ過ギタリ、又千八百五十五年、同所ニ
於テ、紡績者一萬七千人同黨セシトキ、三十六週
間ニシテ、其損失ノ總額、傭工ハ、二百十萬圓、雇主
ハ、八十二萬五千圓ナリキ、又千八百七十四年阿
爾蘭ニ於テ、織夫ノ同黨セシトキ、黨人ノ損失一
百萬圓ナリシト云フ、

不平等論
卷之二
同黨ノ動亂數之アレバ、財本ヲ驅散スルノ患者
ヲ生ジ、其財本ヲ仰ゲル者等ヲシテ、止ヲ得ズ他
所ニ行キテ、職業ヲ求メシムルニ至ル、或ハ同黨
久シク結ビテ解ケザレバ、一市一府ノ工業、爲メ
ニ全ク廢滅スルコトアリ、英倫ノノルウヰチハ、
千八百三十年同黨ノ大亂以來、方今ノ衰頹ヲ致
セシト云フ、○英吉利ノ製造家ハ、魯西亞ノ物貨
舶載、機ヲ失ヒタル者多シ、是故ハ、魯西亞ノ商
賈ハ、英吉利同黨ノ頻リナルヲ聞キテ、英吉利ニ
於テハ、其囑托スル所ノ物品ヲ製造シ能ハザラ

シヲ恐レ、因リテ之ヲ他國ニ囑托シタレバナ
リ、
上ニ云ハルガ如キ障害ニ勝テテ、偶同黨スル者
我意ヲ遂ゲ得ルモ、黨人ノ得ル所ハ、以テ其失ヲ
所ヲ償フ能ハズ、縱令傭工之ニ由リテ、姑ク高
キ勞銀ヲ得ルモ、決シテ久シキニ傳フルヲ得ズ、
元來勞銀ノ騰貴ハ、彼ノ需要ト供給トノ大法〔第
六章〕ニ隨ヒ、同黨ニヨラスシテ、自然ニ生ジ來リ
タル者ニテラザレバ、必ズ永續セザル者ニシテ、
此ノ如キ人爲ノ騰貴ハ、唯第十二章ニ述マタル

自然ノ大法ヲ一時亂シ得タルト云ブマデナリ、
決シテ此大法ニ勝チ遂ゲタルニハアラス、故ニ
雇主、又ハ傭工ノ輩、何事ヲ爲シテ、一時勞銀ノ償
ヲ制スルトモ、到底之ヲ定ムルモノハ、必ズ自然
ノ大法ナリ、

爰ニ傭工一千人アリ、各一日ニ三圓ヲ得レバ、全
計一日ニ三千圓ナリ、而シテ一千人ノ傭工、一日
ニ三圓五十錢ヲ得ント欲シテ、三個月ノ間、同黨
セリ、然ル時ハ、其間得ベキ勞銀ハ、傭工ニ在リテ
之ヲ損失スルナリ、即チ一日失フ所總テ三千圓

ナリトシ、且ツ三箇月ノ間ニ勞動スル日數八十
日トスレバ、得ベキ所ノ勞銀ハ、三圓ノ八十倍ニ
シテ、其總額二十四萬圓ナリ、而シテ若シ同黨セ
シ者我意ヲ遂ゲテ、再ビ職ヲ執ルニ方サテ、各一
日ニ三圓五十錢ヲ得レバ、其前日ヨリ多キ所ノ
者ハ、僅ニ五十錢ニシテ、此總額一日五百圓ニ過
ギズ、是即チ其同黨セシ爲メニ得タル勞銀ノ増
額ナリ、斯クテ、同黨中ノ損失ヲ回復スルニハ、四
百八十日、即チ日曜日ヲ除キ去リテ、十八個月餘
ノ動作ヲナサバカラス、何トナレハ、三個月

損失ヲ以テ二十四萬圓ナリトシ、而シテ一日
加銀五百圓ハ、四百八十日ニシテ、上ノ二十四
萬圓ニ等レケレバナリ、即チ十八個月ヲ經ルニ
非ザレバ、其同黨セシヲ、爲メニ、一錢ノ得ル所
モナカルベシ、但シ十八個月ノ中、勞銀ノ大法ニ
テ、其騰貴ヲ得ルニ非ザレバ、此間相續キテ、三圓
五十錢ヲ得ルハ極メテ難カルベシ、然ル時ハ、同
黨ノ間ニ消費シタル者ハ、眞ニ是レ浪費シタル
ニアラスヤ、
若シ同黨シテ我意ヲ遂ゲント欲セバ、實ニ思慮

スベキ緊要ノ事件三ツアリ、第一、實算勞銀元手
ノ額數、可當勞銀元手ヨリ少キ時ニ限ルベシ、
若シ此ニツノ者相同ジキ時ハ、何等ノ計ヲ用井
ルモ、勞銀ヲ騰貴セシムルコト能ハス、(第十一章
ヲ見ヨ)第二、同黨スル者、生計ノ資本ヲ有タザル
ベカラズ、第三、特リ己ノ黨類ガ動作セザルノミ
ナラズ、現ニ其雇主ノ爲メニ動作スル同類アラ
バ、之ヲ勸メ、或ハ之ヲ強ヒテ、其動作ヲ止メシム
ベシ、然レ氏、之ヲ強ヒテ止ムルコトアレバ、罰金又
ハ捕縛ノ罪ヲ免レ難シ、何トナレバ、人ニ各、正業

アリ、此ヲ以テ其動作ヲナスハ、權利ノ在所ニ
レテ、之ヲ強ヒテ棄テシメントスルハ、罪ヲ犯ス
者ナレバナリ、

夫レ同黨ハ、間意ヲ遂グルヲ無キニ非ザレモ、其
結果ハ、同黨ノ人ニ不利ニレテ、且ツ其得ル所以
、其失ヲ所ヲ償フヲ能ハザルモノナリ、
是故ニ、傭工黨ヲ結ベハ、其害少ナカラズト云フ、

第二十章

雇主ト傭工ハ論争ハ、中裁ヲ以
テ定ムベキト彼此ハ利益ナリ、

雇主ト傭工ニ在リテハ、其論争ノ是非ヲ決ムベ
キ一人以上ノ中裁ヲ撰ミ、其目前ニ於テ彼此相
共ニ願望ヲ陳述スベレ、譬ヘバ、傭工ハ勞銀ヲ求
ムベキ事由ヲ述べ、雇主ハ、勞銀ヲ増サザルノ事
由ヲ説クベシ、是ニ於テ、中人タル者ハ、善ク彼此
ノ述ベレ所ヲ聽キ、以テ其是非ヲ決スベキナリ、
○中裁トナル者ハ、必ず彼此相争ヘル者ヨリ、潔
白且、偏頗ナキ人物ヲ撰出スル事ナレバ、大抵彼
此ノ意ヲレテ充足セシムベキノ裁決ヲナスコ
ト常ナリ、加フルニ、雇主ト傭工ハ、初ヨリ其裁決

ニ從フベキ約束ナレバ、義ニ於テ之ニ服從セザル可カラズ、故ニ論争アリト雖モ、多クハ連合同黨ノ爲メニ、職業ヲ廢シテ、巨萬金ヲ費スニ至ラズ、以テ雇主ト傭工ノ間ハ、親睦ノ情意ヲ保チ得ル者ナリ、

英國ノ議員タルトモ、モリソン、及び裁判官タルベルト、ダートルノ二氏ハ、英國内製造ノ繁盛ナル市府ニ在リテハ、常ニ勸解局ヲ設ケ置クベキ旨ヲ以テ、雇主及び傭工ノ輩ニ勸誘セシメ、其後、此局ノ設アリテ、議員ノ一半ハ、雇主ノ中ニ撰ミ、又一

半ハ、傭工ノ中ヨリ取ラレタリ、而シテ其論争ノ裁決セシメ、數之アリ、若シ此等ノ裁決ナカリセバ、傭工ハ同黨ヲ結ビ、雇主ハ同類ヲ連合シテ、恐ラクハ數百萬圓ヲ費シタランニ、此局ノ設アリタルニヨリテ其浪費ヲ省キタリキ、

佛蘭斯ニテハ、國法ニ因リテ設ケタル勸解局アリ、其議員ハ、政府ヨリ命ジタル議長、副議長各一員ト、外ニ傭工及び雇主ノ中ヨリ撰マレタル者六名ナリ、是レ皆俸金ヲ受ケズ、以テ勸解ヲ請フ者ヲシテ巨費ナカラシム、且ツ雇主及び傭工委

員ノ中ヨリ、各特撰ノ裁判官一人出テ、日ニ其局ヲ開キタリ、トーマス・ブラスビー氏ガ勞銀動作論ニ曰ク、此訟廳ニ訴ヘシ論争ハ、百中ノ九十至ハ勸解ニ由リテ鎮定シ、雇主、傭工ノ輩ニ上等裁判所ヘ控訴スルヲ許セドモ、然カスルニ至ル者ハ幾ント少ナレト、又千八百五十九年、ロルド・ブロームガ上院ニ於テ演說シタル言ニ、千八百五十年ニ方リテ、此勸解局ヘ訴出シタル論争ハ、其數二萬八千アリレガ、其中二萬六千八百ハ、勸解ニ由リテ鎮定シタリト、○亞米利加ニテモ、勸解

ノ爲メニ、同黨或ハ連合ノ患ヲ濟ヒタルヲ數之アリ、是故ニ、雇主ト傭工ハ論争ハ、中裁ヲ以テ定ムベキト、彼此ハ利益ナリト云フ、

第二十一章

結社ハ、富ヲ造出スベキ最良ノ法ナリ、

凡ソ結社トハ、協カシテ事ヲ做シ、各其効勞ノ多少ヲ照シテ、其利潤ヲ分配スルヲ謂フ、譬ヘバ、一社アリ、各金ヲ出シ、或ハカヲ致スニ論ナク、其功

事業ノ半ニ居レバ、其人產物ノ半ヲ以テ己ガ有
トシ、若シ其功十萬分ノ一ニ居レバ、十萬分ノ一
ヲ以テ己ガ有トスル如キ是ナリ、

結社ニハ、製造會社アリ、賣捌會社アリ、雇主ト工
人ノ間ニ結ブモノアリ、又工人相互ニ結ブモノ
アリ、

製造會社トハ、石炭坑會社ノ如キ是ナリ、賣捌會
社トハ、共立雜貨鋪雜貨鋪トハ、酒、茶、咖啡、砂糖、菓
物及ビ乾貨等ヲ賣ル所ノ肆
店ナノ如キ是ナリ、

雇主ト工人ノ間ニ結ベル者ハ、工人其勞銀ノ外

ニ利潤ノ配分ヲ受ルトリ、又工人相互ニ結ベル
者ハ、工人其得ル所ノ利潤ヲ擧ゲテ、悉ク之ヲ己
ニ有スル者ナリ、詳言スレバ、其社ヲ以テ其工人
ノ有トスル者ナリ、

賣捌會社ハ、製造會社ヨリモ危儉少トントス、即
チ雜貨鋪ノ如キハ、多クハ皆一定ノ顧客アリテ、
其昨日買ヒタル所ノ物ハ、今日之ヲ賣リ盡スニ
過ギズ、其財本モ亦炭坑會社ノ如ク多キヲ要
セズ、且ツ其管理モ得テナレ易シ、若シ夫レ、石炭
ヲ掘ルニハ、其費用甚ダ多ク、財本モ亦隨ヒテ多

カラザル、一ヲ得ズ、加之、石炭ニハ種々ノ原因アリテ、其價時ニ隨ヒテ變改スル者ナレバ、成ル可ク以テ前知セザルベカラズ、故ニ炭坑會社ハ、其管理頗ル巧拙アリ、凡ソ結社ノ中、其最モ良善ナルハ、雇主ト工人ノ結合ナリ、何トナレバ、工人ハ、雇主ノ熟練ト其財本トヲ藉リテ、之ヲ己ガ利益ニ用ヰルヲ得、又雇主ハ、工人ノ親附ヲ得ヤスク、且ツ其勤勉ト練熟トヲ盡サシムルハ、益アレバナリ、結社ハ、亞米利加ニ於テハ甚ダ少ナント雖モ英

吉利及ビ日耳曼ニハ頗ル行ハル、者ナリ、爰ニ工人相互ニ設ケタル賣捌會社ノ例ヲ舉ゲテ、之ヲ示スベシ、英國マンチンストルノ近傍ニ、製造繁昌ナル一邑ロチデールト云ハル所アリ、此地ノ有名ナル賣捌會社社名ヲゼ、イク案テブル、バイオニール、ソサイハ、千八百四十二年ニ方リテ、織匠ノ徒二十八人ノ設ケル所ナリシガ、當初此徒極メテ貧困ニシテ、每週一人ゴトニ纔カニ四錢ヲ醵シ、二年ニシテ其積ム所ノ財本、僅々百四十圓ニ過ギズ、斯クテ、千八百四十四年十二月、邑内ノ一陋巷ナ

ルトードレエニ於テ、小舗ヲ儼リ、某夜ヲ期シ
テ開業ノ式ヲ行フ、此夕近傍無賴ノ賤民、コレヲ
一觀ニ托シ、其微陋ヲ嘲ラントテ、來集スルモノ
數ヲ知ラズ、既ニシテ小舗ノ窓戶、垂帳ヲ開クニ
及ビテ、觀ル者、室内ノ棧棚幾ニ下ニ一物ナキヲ見
テ、一齊ニ大哄シテ之ヲ笑ヘリ、其後絶エテ舗ニ
就テ買フ者無ク、唯ニ十八人ノ社員ガ買客タル
ノミニテ、夜間其舗ヲ管スベキ舗相ヲモ雇役ニ
得ズ、毎夜社員ノ者交番シテ之ヲ管理シ、晝間ハ
戶窓ヲ鎖シケルニ、日ナラズレテ其備ヘ置キタ

ル些少ノ雜貨ヲ賣リ盡シ、其利潤ヲ以テ更ニ多
數ノ物貨ヲ買辦ス、此ノ如クスルノ數回ニシテ、
物貨漸ク積テ漸ク多カリシ、抑、此物貨ハ、初ヨリ
直ニ製造家ニ就テ買辦シタルガ故ニ、其價ノ
廉下ナルニ由リテ通常ヨリモ低ク賣ルコトヲ得、
且ツ諸費ヲ償ヒ悉シテ、尚ホ些少ナル利潤ヲ餘
セリ、千八百四十五年ニハ、其財本九百十圓、社員
ノ數七十四人ニ至ル、是ヨリ幾ナラズシテ、更ニ
大ナル舗店ヲ儼リ、又舗相ヲモ雇ヒ、千八百四十
六年ニ至リテ、始メテ獸肉ヲ賣リ、其翌年織物ヲ

賣リ、同五十二年、靴履衣服等ヲ賣リ、而シテ是年
又別ニ卸賣ノ鋪店ヲ開キタリ、然レモ此社員タ
ル織匠ハ、初メヨリ絶エズ織成ニ從事シテ、店鋪
ノ事ハ、其鋪相ニ委任ス、故ニ此會社ノ爲メニ、嘗
テソノ本業ヲ廢シタルトナカリシトナリ、
現今此會社ノ本店ハ、ロチデールニ於テ最モ著
大ナル四層樓ニシテ、其地房歐米、
下ヲ鑿チテ、房ヲ地下ニ設ク、其大小廣狹、毎戸必
ズ一ナラズ、コレヲ用井ルモ亦各異ナレモ、商
家ハ、多クハコレヲ以テ、物貨ヲ貯フル場ハ包
トナス、今コレニイフ地房トハ即チ是ナリ、
箱等ノ貯場ナリ、一階ト二階ハ、諸物貨ヲ陳列ス

ル所ナリ、三階ニハ讀書ノ房、書庫ノ設アリ、幾
ンド一萬卷ニ及ブキ書籍ヲ備ヘリ、四階ニハ
美麗ニシテ壯快ナル大室アリ、是レ毎月社員ノ
會議スル所ニテ、又演說ノ室トシ、且ツ以テ社友
ノ誹會スル所ニ設ケタリ、此三階ノ讀書房ノ外
ニ、市中ニ設ケタル讀書房ハ、總テ十一個アリ、加
之、社員及ビ幼童ノ爲メニ設ケタル學校モアリ
テ、學問所用ノ器具ヲ此所ニ聚蓄シ、社員ノ問學
ヲ助ケ、或ハ朋友ヲ慰ムルガ爲メニ、一夜二錢或
ハ三錢ニテ之ヲ貸シ與ヘリ、其他支店ハ、市中各

所ニアリ、其中賣肉鋪十一個、雜貨鋪十三個アリ、此外烟草ノ製造所モアリ、又其贏餘ノ資本ヲ以テ穀物、綿毛等ヲ製スルノ水車ヲ設ク、然レモ此等ノ水車ハ製造會社ニ屬スルモノナレバ、此ハ之ヲ詳述セズ、

千八百七十一年十二月、此會社ヨリ社員ノ爲メニ多ク家宅ヲ建築ス、而レテ今日ニ至リテハ、其毎戸ニ石炭ヲ賣與セリ、抑此會社ハ、初メヨリ恰モ社員ノ儲金預銀行ノゴトキモノニテ、何時ヲ論セズ其寄托セル銀ヲ受ケ、而レテ其株金ニ利

子ヲ交付スル所タリ、

英吉利人ホリヲークハ、學徒ニレテ、一個ノ日報新聞ノ記者トナリ、兼ネテ某會社ノ社員ナリシガ、同氏右ノ會社ノ傳ヲ記セルアリ、曰ク、彼ノ卑賤ナル一夥ノ工人ハ、前時口ニ美味ヲ嘗メズ、其日ニ食フ所ノモノハ、盡ク汚雜腐臭ノ食物ノミ、其靴履ハ、一月ヲモ經ザルニ水泥濡染シ、其外套ハ臙垢ヲ帶ビテ光アリ、且ツ其妻ノ衣裳ハ印花布ニ止マリテ、常ニ幹濯ヲモ爲スヲ力カリシガ、今ハ其市場ニ行キテ物貨ヲ買フ、素封ニモ劣

ラズ、其食物ノ精良ナルハ亦幾ンド王侯ニ同ジ、
又社員ハ、其用井ル所ノ織物ヲ製シ、靴履ヲ造リ、
衣服ヲ縫ヒ、穀物ヲ磨スル等、一切其社ニ於テレ
テ、之ヲ他ニ仰ガズ、其他好糖、良茶及ビ咖啡ニ至
ルマデ、盡ク自ラ之ヲ辨ゼザルナシ、且、コレノミ
ナラズ、牧場ニハ肥美ナル牛羊等ヲ畜養ス、皆是
レ社員ノ屠宰ニ供センガ爲メナリ、同邑ニ一派
ノ禁酒社友アリシガ、其輩嘗テ歎ビテ曰ハフク、
我輩百方勸誘シテ、人ヲ化セント勉ムルヲ、茲ニ
年アリト雖モ、彼ノ織工會社ノ結立以來、多ク謹

直ノ人ヲ得タルニ如カズト、抑、彼ノ貧民輩前日
ハ負債償却ノ期ヲ知ラズ、其婦妻タルモノモ亦
四十年間曾テ一錢ノ私儲ナカリシニ、今ハ多少
ノ餘蓄モアリテ、狭小ノ家屋ヲ構造スルニ足リ、
又囊中金貨ノ響ル鏘然タルヲ齎シテ、毎週市場
ニ行キ、其要スル所ノ物貨ヲ購フヲ得、此市場
ハ即チ社員ノ開設スル所ニシテ、相共ニ不信無
實ノ事ヲ爲サズ、製品ニハ質造ノ類ナク、其價モ
亦之ヲ貳ツニセズシテ、爲ス所ノ事、皆誠實ナラ
ザルハナシト云ヘリ、

千八百七十三年六月十日ノ報告ニ由レバ、其前三個月間、會社ノ賣額、三十萬零九百八十五圓ナリ、夫レ此商社タル、固、是レ貧困ナル傭工輩ハ、僅ニ金ヲ集メテ、創立シタル所ナリシガ、現在此ノ如ク、其殷富繁盛ニ至レルモノハ、實ニ嘆美スルニ餘リアルベク、又其傭工輩今尚ホ孜々トシテ職事ヲ是、勉メ、日々ノ勞銀ヲ得、以テ此商社ヲ統治スル者ハ、是、亦實ニ稱讚スルニ足ルベキナリ、方今該社ノ制度左ノ如シ、凡テ會社ノ役員、及ビ社員ノ過半ニ信託セラレ、者ハ、何人ニ拘ハラ

ズ、皆入社スルヲ得ベクレテ、入社スル者ハ、株金ノ五株ノ納金、其一株ハ五圓ナリ、此外別ニ二十五錢ノ入社手数料ヲ納メ、而シテ此五株ヲ盡ク償却スルニ至ルマデ、毎週必ズ九錢ヲ納ムルヲ則トス、是レ即チ會社ノ株金財本ナリ、又別ニ社員ノ預ケ金ニテ成立シタル預リ金財本アリ、此預ケ金ニハ利子ヲ拂ヒ、且ツ何時ヲ論ゼズ、預ケ主ノ請ニ依テ元金ヲ還附ス、但シ之ヲ會社ニ貯蓄スレバ、其商業ヲ推廣スル爲メニ之ヲ費用ス、故ニ預リ金モ亦會社ノ財本ノ一部分ヲナセ

リ、而シテ物貨ハ盡ク現金賣買ナリ、
會社ニ於テハ、市場ノ通價ニテ物貨ヲ賣リ、時
リテハ、市價ヨリモ稍低クレテ之ヲ賣却シ、而シ
テ其利潤ハ左ノ如ク之ヲ配分セリ、
會社辦用ノ諸費、及ビ預リ金ノ利子百分ノ五ヲ
先ツ拂ヒ悉シ、次ニ株金ノ利子百分ノ五ニ過ギ
ズヲ配分シ、然レテ剩餘アレバ、其百分ノ二分五
釐ヲ以テ、之ヲ教育ノ用ニ充ツ、此額一歲五千圓
ノ餘ニ上リ、又其餘分ハ、本社ノ物貨ヲ購買シタ
ル顧客ニ交還ス、但レ其購買シタル金額ニ應ジ

テ、之ヲ交還スルナリ、譬ヘバ、甲ニシテ二十圓、乙
ニシテ十圓ノ物貨ヲ買ヘバ、甲ハ乙ヨリ二倍ノ
購買ヲナセシニヨリ、二倍ノ交還ヲナス、而シテ
顧客若シ社員外ノ人ナルトキハ、交還ノ數、社員
ノ半ヲ得ルナリ、千八百七十三年六月十日マデ、
一期三箇月ノ中、此交還ノ額數、百分ノ十二半ニ
在リ、即チ百圓ノ物貨ヲ買ヒタル社員ニハ、十二
圓五十錢ヲ交還シ、社員外ノ者ニハ、百圓毎ニ六
圓二十五錢ヲ交還セリ、是故ニ、上ノ會社ニ加ハ
ル者ハ、其購買セル物價ノ幾分ヲ還附セラレ、

ノ益アリ、且ツ株金ノ配賦ヲ得、預ケ金ノ利子ヲ得、又讀書房、書籍、學校等ヲ借用シ、且ツ純良ニシテ汚雜ナラザル物品ヲ買ヒ得ルノ益アリ、蓋シ物品ノ汚雜贋造ヲ為サバモノハ、賣者ト買者ト其利益ヲ同クスルニヨリテナリ、此ノ如ク彼此共ニ其利益ヲ圖ルハ、獨リ賣捌會社ノ法ニ據ルニアラザレバ能ハザルコトナリ、又、雇主ト工人ノ結ビタル製造會社ノ一例ヲ舉ゲテ、左ニ示スベシ、

英倫ノヨルクディールニ、ブリグス、ブログルス、ト

云ヘル石炭坑ノ會社アリ、二個ノ石炭坑ヲ領有シテ、此所ヨリ石炭ヲ掘リ出セシガ、其常ニ會社ノ患害トナリシハ、工人曰ク、以下皆同、動モスレハ喧争ヲ發シ、又酒ヲ飲ミテ、其業ヲ怠クルノ一事ナリ、工人必チニ謠テ曰ク、石炭坑ノ領主ハ、總ラ鬼ナリ、ブリグスノ如キハ、鬼中ノ王ナリト、其不和ノ甚シキ、此ヲ以テ見ルベシ、此輩同黨ヲ結ビシテ數之アリ、或ハ微細ノ事ヲ口ニ藉キテ、業ヲ怠ル亦少ナカラズ、一個ノ少年、帽ヲ空中ニ抛チ大呼シテ、今日職事ヲ止メント云フ者アレバ、

幼壯舉テ其日ヲ空過スルニ至レリ、會社ニ於テハ、石炭ヲ掘リ出スト否トニ係ハラズ、坑底ヨリ水ヲ抽キ去ルト、二個ノ石炭坑ヲ監視スルトノ費用、一日一千圓ニ下ラズ、是ヲ以テ工人ノ動作セザル日ト雖、會社ノ虧損少ナクモ一千圓ナリ、此等ノ故ニ、石炭ノ利潤ハ、平均僅ニ百分ノ六ナリシト云フ、
斯クテ、千八百六十年ニ方リ、政治學兼ネテ經濟學ノ大家ナル英吉利人ムウヰト氏、雇主ト工人ノ間ニ會社ヲ結ブノ方案ヲ論ジテ世ニ出セリ、

因リテ、千八百六十六年、ブリグス會社、始メテ其方法ヲ試シシニ決定ス、是ニ於テ、合本會社ヲ成立シテ、一株五十圓ノ株金、九千七百七十株ヲ醵集シ、而シテ工人ニハ割賦法月賦年賦ニテ、其株金ヲ買フヲ許セリ、然レ、工人ノ中、之ヲ買ヒタル者、甚ダ少ナカリシ、其後今ニ猶ホ其株金ノ工人ニ屬スル者、僅ニ二百六十株ニ超エザレドモ、會社ニ於テハ左ノ法ニヨリテ其利潤ヲ配分セリ、

第一、總テ株金ニハ一割ノ利子ヲ交付スベシ、

第二、其剩餘ノ利潤ハ、之ヲ平分シ、其一ハ、餘分ノ利潤トシテ、之ヲ毎株金ニ交付シ、其一ハ、工人ノ株主タルト否トヲ論ゼズ、其一年ノ間ニ得タル所ノ勞銀ニ應ジテ、之ヲ配分スベシ、譬ヘバ、甲乙ノ工人アリ、甲ハ、一年ノ間ニ、勞銀二百圓ヲ得テ、乙ハ、百圓ヲ得レバ、甲ハ、乙ヨリ多キヲ二倍ノ配分ヲ受ルナリ、此方法、果シテ大ニ効驗アリ、即チ工人ハ、其有テ株金毎ニ一割ノ利子ヲ得、且ツ剩餘ノ利潤ハ、其半ヲ接收シ得ベキニヨリ、皆一割ノ外ニ利潤

ヲ上セントテ、大ニカヲ盡シ、其用ナル所ノ材料器具ヲモ更ニ委棄セズ、若シ其破損セル者アルヲ見レバ、復タ前時ノ如ク之ヲ放擲セズ、コレ亦利潤中ノ幾分ナリト曰フテ、捨ヒ起シテ齎シ來リ、其修補ヲ請フニ至レリ、其業ヲ勤ムルト此ノ如クナルニヨリ、工人ハ、各利益ヲ得、又相共ニ監督シテ其工務ヲ勵ミシカバ、監督ノ費用サエ大ニ減省ヲ加ヘ、前時ハ、工人妄リニ浪費シテ止マザリシニ、今ハ反リテ節儉ヲ主トシ、又怠リテ酒ニ耽ラズ、喧噪動亂ノ事ハ、大ニ之ヲ賤ミテ、醜惡

ノ習、幾ニド絶エテ無キニ至リ、又ブリグス會社
ト友誼ヲ厚クシ、間、勞銀或ハ執業ノ時間等ニ就
テ、論争ノ起ルヲアルモ、懇切ニ調停シ、或ハ勸解
シテ事ヲ生ゼシメズ

此方法施行ノ後、第一年ノ終リニ至リテ、會社并
ニ株金ヲ有チタル工人トモ、一割ノ配分ヲ得ル
ノ外、剩餘ノ利潤一萬七千圓アリケレバ、之ヲ平
分シテ、其一分八千五百圓ヲ以テ、株金ニ額外ノ
配分ヲ爲シ、又一分八千五百圓ハ、之ヲ工人中ニ
配分シタリ、第二年ニ及ビテハ動作ニ應ジテ、工

人ニ配分シタル利潤、一萬七千五百圓ナリ

此方法ノ行ハル、ヤ、今千八百七十五年既ニ八
年ニ幾シ、而シテ此會社ハ、千八百六十六七年ノ
前ニハ、一年ノ間ニ得ル所、百分ノ六ナリレガ、其
後一年ノ得ル所、百分ノ十五乃至十七ナリ、又其
工人ハ、株主タルト否トニ係ハラズ、其動作ニ應
ジテ、年々利潤ヲ得、一分ヲ以テ工人及ビ其家族
ノ爲メニ、書庫及ビ學校ヲ設ケタリ、而シテ其品
行ハ善ニ遷リ、其智識ハ日ニ開ケテ、節約儉素ノ
民俗ニ化シタリト云フ、（原此社ノ工人ハ、別ニ成
業同社アリテ、又其員中

ニ加ハリレガ、我輩此篇ヲ草スルノ後、右ノ同社ヨリ、本文ノ會社ニ過リテ、終ニ其工人ノ社ヲ解カレメタリ、是レ何等ノ事アリテ然ルニヤ、得テ知ルベカラズト雖モ、右同社ノ處置ハ、頑愚固陋ノ譏ヲ免ル可カラズ、

凡ソ結社ハ、上ニ述ベシ所ノ如ク、同黨ノ害ヲ防ギ、親附ノ情ヲ厚クシ、動作ヲ勵マレ、浪費ヲ戒メ、監督ノ費用ヲ省キ、工人ヲシテ貯蓄セシムベキノ機ヲ得セシメ、又節儉德行及ビ教育ヲ奨メテ、總テ社員タル者ノ益ヲ爲ス者ナリ、（原）左ノ如ク、氏ノ說ニ曰ク、賣捌會社ハ、英倫ニ於テ皆大ニ其効驗アリ、又製造會社ハ、今日ニ至ルマデ、其經驗亦甚ダ少ナレト雖モ、（原）亦益アル者ノ如シ、

是故ニ、結社ハ、富ヲ造出スベキ最良ノ法トハト云フ、

第二十二章

成業同社資本ハ、之ヲ用井、
テ、會社ヲ結ブ、最上トス、

成業同社資本ハ、之ヲ用井ルニ二途アリ、其一ハ、社員ノ中、職業ヲ得ルコト能ハズレテ、空ク時日ヲ送ル時、或ハ火災盜難等ニ遇フ者アル時、コレヲ助クルニ用井ルナリ、其二ハ、若レ同黨スルヲアレバ、其生計ヲ支ルガ爲メニ用井ルナリ、而シ

テ第一ノ用ハ、良善ナリトスレド、第二ノ用ハ、財
本ノ浪費ヲ免レズ、第十章ヲ見ヨ、若シ工人
同黨レテ、一週或ハ一月ノ間、其支給ヲ受レバ、其
費必ズ大ナラン、蓋シコレヲ以テ工人ニ貸レ與
フレバ、其ヲレテ雇主ノ家業ニ係ハル株金ヲ買
ハシムルニ餘リアルベク、或ハ其ヲレテ別ニ一
個ノ商業ヲ起サシムルモ、猶ホ餘リアルベキナ
リ、
千八百七十四年ニ方リ、レカゴ府ニ寄留シタル
靴匠ハ、勞銀ノ減省ヲ怒リテ、久シク同黨レ、其末

終ニ社ヲ結ビテ一個ノ製靴所ヲ作リシガ、財本
ノ不足ナルヲ以テ、遂ニ解廢レタリ、但シ其同黨
ノ間、成業同社ヨリ資給ヲ得テ、費セシ所ノ金額
ハ、新タニ製造所ヲ起スニモ、猶ホ餘リアリシナ
ラン、故ニ初ヨリ此資本ヲ以テ製造所ヲ設立シ、
而シテ社員ノ中、老練セル者ヲ撰ミテ、其社事管
理セシメタランニハ、社員ノ靴匠タルモノハ、各
自其動作ノ勞銀ト財本ノ利潤ヲ得シナランニ、
惜ムラクハ、靴匠輩、同黨ヲ結ビ、無益ノ事ニ巨費
ヲ費シテ、一錢ノ利潤ダモ得ルコナキノミナラ

不遇 河言 三二一
ズ、終ニ低頭シテ舊雇主ニ罪ヲ謝シ、且ツ前日ヨ
リモ低キ勞銀ニテ、作工ニ就シコトヲ求ムルニ
至レリ、然ルニ、此間雇主ハ、靴匠ヲ東部合衆國ノ東部ヲ云
ヨリ招キテ、其缺空ヲ補ヒケレバ、工人ト申、終ニ
全ク職ヲ得ルコト能ハザルモノアリ、此ノ如キ
者ハ、別處ノ市府ニ行キテ、其動作ヲ求ムルガ爲
メニ、復々徒ニ多少ノ金ヲ費セリ、
故ニ成業同社ハ、必ズ左ノ方法ニテ其資本ヲ用
井ルベシ、

成業同社ハ、一時社員ノ災難ヲ濟ラニ足ルベキ

額數ヲ貯蓄シテ、其餘猶ホ數百圓、或ハ數千圓ヲ
積ムニ至ラバ、暫クモ遲延スルヲナク、之ヲ以テ
社中ノ工人ニ貸シ與フベシ、但シ元金償却ノ事
ハ社中ニ於テ、豫メ能ク注意セザルベカラズ、又
其金ヲ借リタル工人ハ、之ヲ以テ製造會社、或ハ
賣捌會社ヲ設立スベシ、若シ製造會社ナレバ、爲
メニ勞銀ヲ高クレテ、其物ヲ買フノ資財ヲ増ス
ベク、若シ或ハ賣捌會社ナレバ、日常必要ナル物
貨ノ價ヲ低クレテ、其物ヲ買フノ資財ヲ増スベ
シ、此ノ如クニシテ、工人ハ、其得ル所ノ餘分ナル

利潤ヲ以テ、元金ヲ償ヒ、利子ヲ納ムベシ、又會社
ハ、此間更ニ餘分ノ貯蓄ヲナシ、前回ノ如ク、之ヲ
他ノ工人ニ貸與スベキナリ、此ノ如クニシテ、反
復スルノ數回ナレバ、終ニ成業同社ノ社員ハ、盡
ク工人ニシテ、且ツ細小ノ財主トナリ、而シテ財
本ノ利潤ト、動作ノ勞銀ト、併セテ得ルニ至ル
ベシ、

現今成業同社ナル者ハ、唯、社員一時ノ利便ヲ爲
スノミナリ、然レモ、上ニ説ク所ノ方法ヲ用井ナ
バ、其資本ヲ以テ、永ク社員ヲ益スルヲ得ベシ、

是故ニ、成業同社資本ハ、之ヲ用ヒ、テ、會社ヲ結ビ、
ヲ最上トスト云フ、